

コムストイレ プラス

COMS plus

設置補完資料



Hamanetsu

目次

1.基礎・配管工事.....	2
2.搬入・吊り上げ.....	5
3.アンカー工事・便器据付け.....	7
4.給水管接続.....	9
5.電気工事.....	10
6.凍結防止対策.....	11

基礎・配管工事



①基礎・配管施工

「参考基礎図」に準じて施工してください。但し、「参考基礎図」は、標準施工図となっているため、現場の状況に合わせて施工してください。

コンクリート打設時にアンカーボルトを施工する場合は、配管との位置を正確に測り出してください。



②衛生器具類(便器・ロータンク・便座等)について

便器は本体室内に梱包された状態で納品いたします。破損等の原因となりますので、設置前に安全な場所へ移動、保管してください。



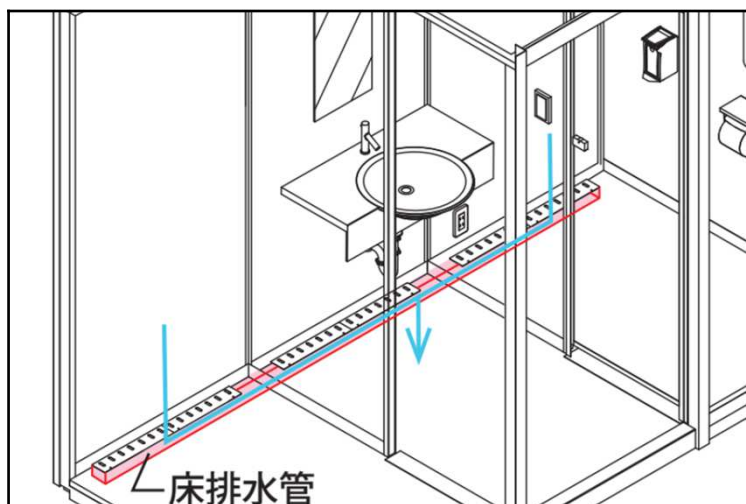
③フロア裏写真

設置前に倉庫などで長期間保管する場合は、水平な場所で保管してください。その際アルミフレームの下に角材を置くなど養生を行ってください。



④床排水部写真

配管工事



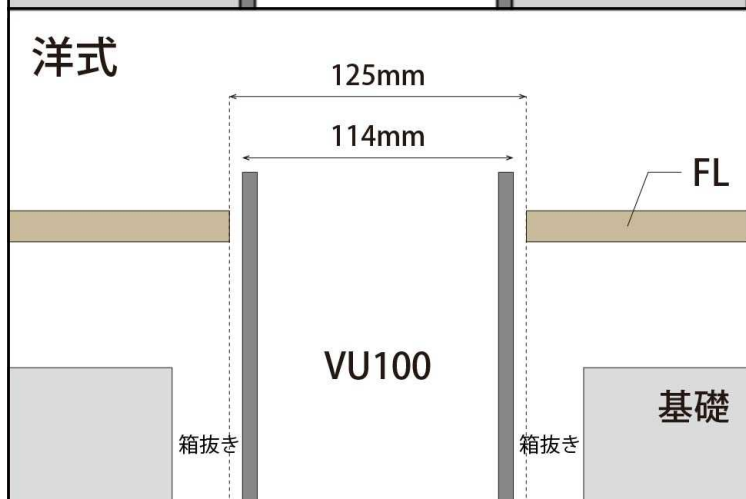
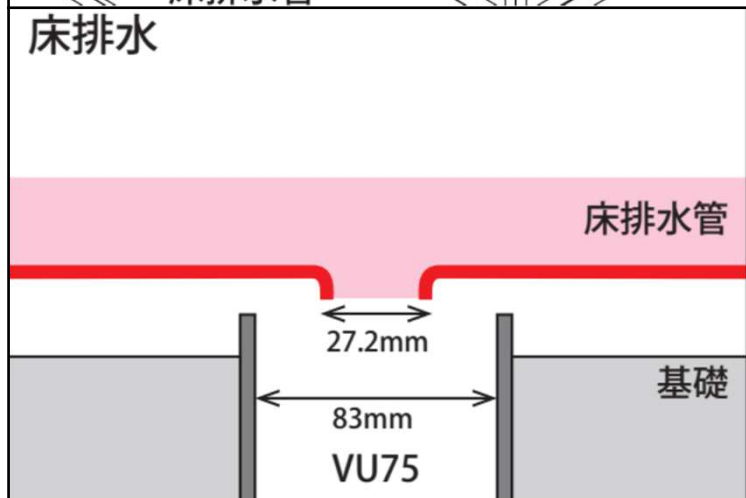
⑤床排水

床排水は全室の奥側に取り付いており、樋のようになっています。

・床排水：VU75

床排水の側溝排水が不可能な場合、臭気対策としてトラップなどを設けて汚水配管に接続してください。

※本体にトラップは設けておりません

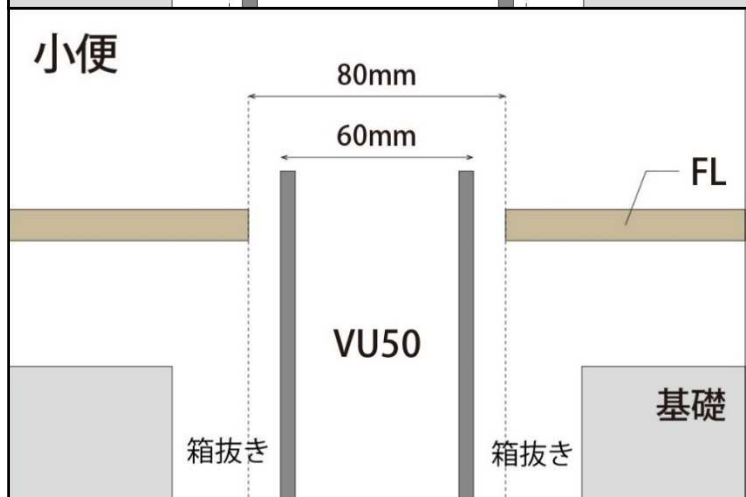


⑥洋式排水

・洋式配管：VU100

配管が合わなかった場合に備えて、**箱抜き**の施工をお願いいたします。

※VU75の接続も可能です。基礎図の配管芯に合わせた施工をお願いいたします
※簡易水洗仕様はVU100のみ接続可能

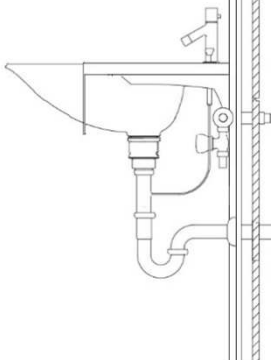


⑦小便排水

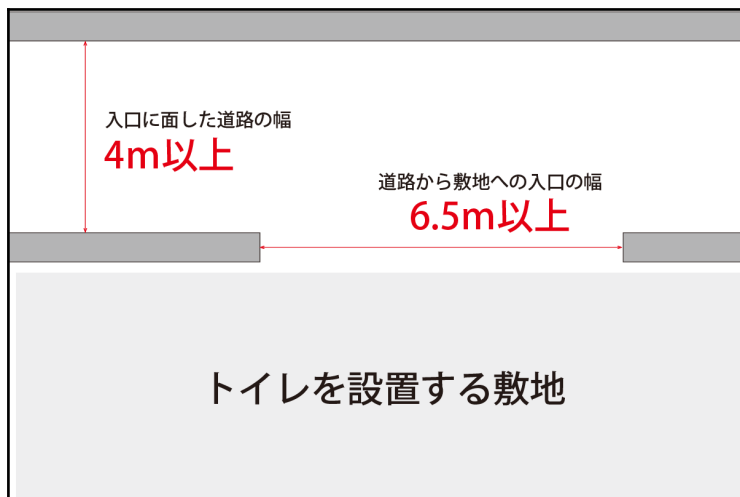
・小便配管：VU50

配管が合わなかった場合に備えて、**箱抜き**の施工をお願いいたします。

配管工事

 給水口 (R$\frac{1}{2}$) 排水口 (φ32)	⑧手洗い給水・排水 ・給水口 : R$\frac{1}{2}$ ・排水口 : φ32 手洗器は壁からの給排水となりますので手洗器の排水管は室外での立上げをお願いいたします。 ※排水用にクリーンアダプターを別途ご用意ください。

搬入・吊り上げ



⑨トイレユニット搬入経路

搬入路の【道幅は4m以上※カーブはそれ以上】【高さは5m以上】が必要です。

搬入経路に電線や木の枝が張り出している場合、お届けができない場合がございますので、**必ず搬入経路の確認をお願いいたします。**



⑩納品場所の高さ

納品場所の高さが5m以上あるか確認をお願いいたします。それ以下の高さですとクレーン車で荷下ろしができない場合がございます。

また当日は納品の立会、及び荷下ろし場所への誘導と指示をお願いいたします。



⑪吊り具

トイレユニットの吊り上げは、屋根に取り付けてある吊り具を使用し、**必ず4点吊り**にてお願いいたします。

※写真は2室タイプの屋根となります。



⑫吊り上げ時の注意事項

小型移動式クレーン等で吊り上げてください。ユニック車にて設置する場合は、**設置個所に横付け・アウトリガーの展開可能、且つユニック操作が可能な場所**にてお願いいたします。

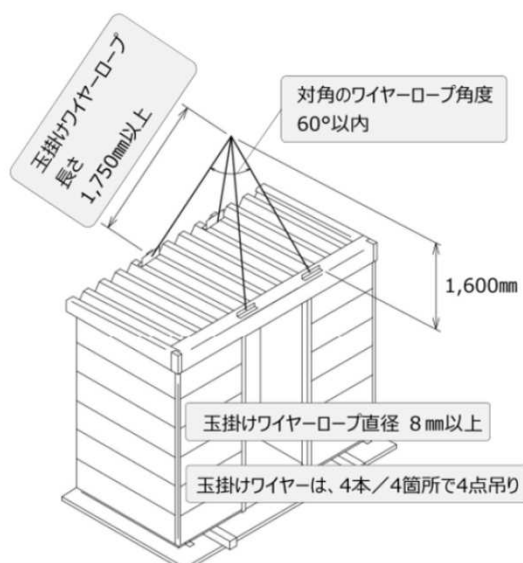
搬入・吊り上げ



⑬設置時のサポートについて

設置をする際には、トイレユニットの両サイドが振れないように、**2名以上**でサポートしてください。

また設置前に製品の内観、外観に傷の有無や設備に不具合がないか確認してください。



※注意事項

・ワイヤーロープを準備する際に、使用されるロープに異常がないか確認をお願いいたします。

・吊り上げ時のロープ角度にご注意ください。
無理なロープ角度で吊り上げた場合、躯体が歪む恐れがあります。

・吊り上げ時には**介錯ロープ**等でユニットの揺れを防ぐようお願いいたします。

※吊り上げ、玉掛け作業は、必ず有資格者が行ってください。



アンカー工事・便器据付けについて



⑭配管の確認

設置後各室の配管を確認してください。

左：小便配管

右：洋式配管



⑮アンカーの施工

・アンカーブラケット穴径18mm

M12のアンカーにてアンカーボルトを後施工する場合は、ケミカルアンカーを使用してください。アンカーが所定の穴に入っていることを確認したら、位置関係を微調整し、M12ワッシャーを被せて、M12ナットで固定してください。固定後、あらためて本体に傷や異常がないか確認してください。

※商品にアンカーボルトは付属されており
ませんので、お客様にてご用意をお願いいたします。

※アンカーブラケットと基礎に隙間がある場合、無理に締め付けずスペーサー等を使用するようにしてください。本体が変形する恐れがあります。



⑯便器の据付け

便器配管を接続し、便器を据付けてください。

※据付けの際は各便器付属の施工説明書を
ご参照ください。

※洋式便器のフランジの取付けの際、便器付属の木ねじが入らない場合、下穴としてφ4mm程度の穴をフレーム部まであけ、別梱包のドリルねじをご使用ください。

便器据付けについて（便器等の梱包形態）

⑰洋式トイレ梱包形態

取付済

- ・握りバー
- ・便座除菌クリーナー
- ・棚付ペーパーホルダー
- ・給水口（めねじ Rp1/2）
- ・フロア配管用穴加工済（穴径 $\phi 125$ ）

別梱包、現地組付

- ・便座、便器、ロータンク、床フランジ

⑱手洗器梱包形態

取付済

- ・鏡
- ・手洗器
- ・立水栓
- ・給排水金具

⑲小便器梱包形態

取付済

- ・フラッシュバルブ（洗浄管は別）
- ・フロア配管用穴加工済（穴径 $\phi 80$ ）

別梱包、現地組付

- ・便器、
- ・床フランジ
- ・フラッシュバルブ用洗浄管

⑳照明器具・スイッチ関係

取付済（室内配線済）

- ・室内灯
- ・スイッチ

給水管接続

②給水管の取付

給水は**トイレユニット後面**の給水口に、図面のねじ規格に従って給水・排水管を接続してください。



小便給水: R1/2 おねじ

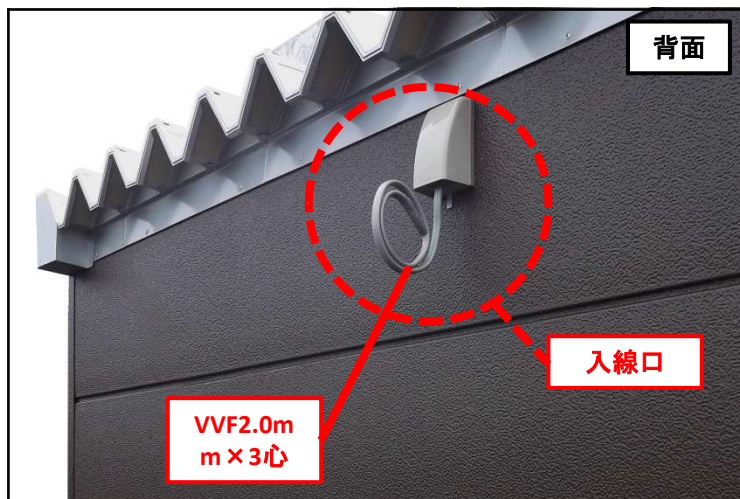
洋式給水: R1/2 おねじ



手洗器給水: R1/2 おねじ

手洗器排水: $\phi 32$

排水口



②ー1 電気配線

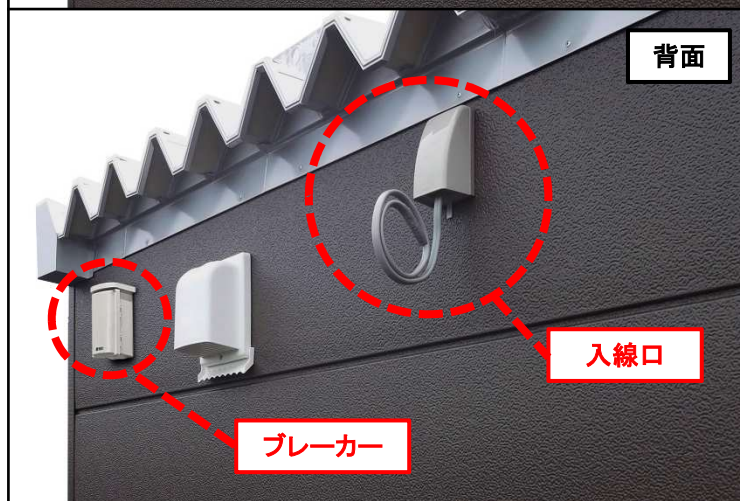
※電気工事は電気工事士が行ってください

【対象機種】

- ・水洗タイプ: 全機種
- ・簡易水洗タイプ: 全機種

【設置手順】

ユニット用電源は、**入線口**から**VVF2.0mm x 3心**が出ていますので、AC100Vを供給してください。その際、**アース接続**は必ず行ってください。



②ー2 電気配線

※電気工事は電気工事士が行ってください

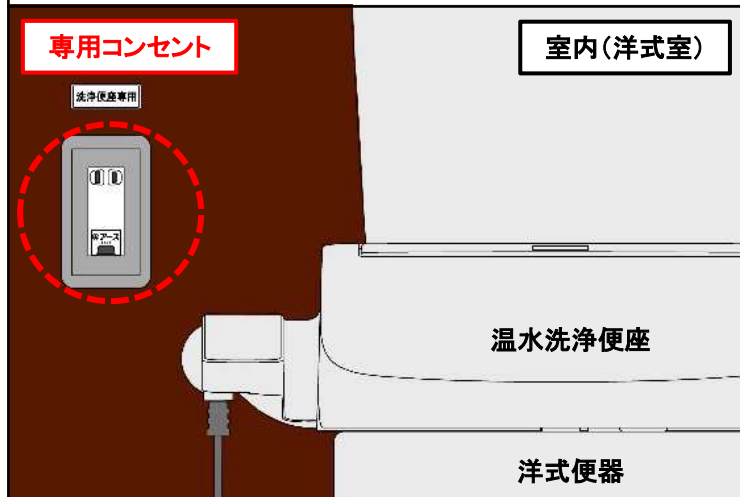
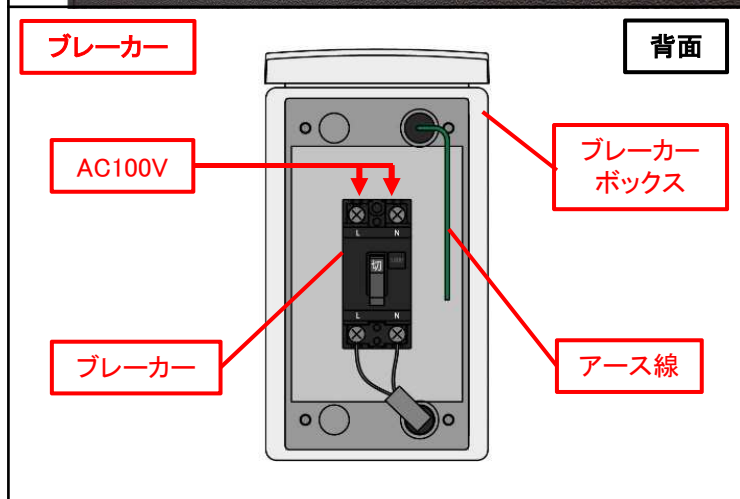
【対象機種】

- ・水洗タイプ: スタンダード、アドバンスド、プレミアム、寒冷地仕様
- ・簡易水洗タイプ: 対象機種なし

上記の温水洗浄便座付きの機種には、洋式便器1台につき、室内(便器横)に**専用コンセント**、室外(背面)に**専用ブレーカー(15A/100V)**がそれぞれ1個設置されます。

【設置手順】

- 1: ブレーカーのスイッチが必ず「切」になっていることを確認してください。
- 2: AC100Vの一次電源線(L/N)を左図に表記した**ブレーカーの矢印箇所**へ確実に接続してください。
- 3: ブレーカーボックス内の**アース線**(300mm)を取り出し、別途お客様にてご用意いただくアース線を接続して確実に**アース接続**をしてください。
- 4: 温水洗浄便座に付属の取扱説明書、施工説明書の指示に従い**温水洗浄便座の電源プラグ**と電源プラグに付属の**アース線**を**専用コンセント**に確実に接続してください。
※**専用コンセント**は洋式便器の向かって左側に設置されています。**右側にある2口コンセントには絶対に接続しないで下さい。**
- 5: ブレーカーのスイッチを「入」にして電源供給を行ってください。その際、異常発熱・焦げ臭・異音が無いか点検を行ってください。



凍結防止対策



②③凍結防止対策

凍結の恐れがある地域の場合は、現地にて必要に応じて凍結防止策を施してください。



②④完成

最後に、製品の内観、外観、室内設備の確認を行ってください。

※最後に

画像の一部は標準仕様ではないものも含まれております。
実際の施工では仕様に応じた施工を行っていただきますようお願いいたします。